

神奈川県立秦野高等学校グランドデザイン（令和6年度～令和9年度）

スクール・ミッション

- 全日制の課程学年制普通科を設置する高校として、生徒の特性や地域・学校等の実情を踏まえ、生徒一人ひとりの学習や進路等の目標の実現に
 応えるよう、学力の育成、豊かな人間性や社会性の涵養、社会的・職業的な自立等をめざした教育課程を適切に編成する。
- 「文武両道」「質実剛健」の校訓のもと、時代の変化に適応し未来を担い支えるリーダーの育成をめざし、的確な判断力、豊かな創造力、広い視野と実践力、主体的で責任感旺盛な態度を培うよう、知・徳・体のバランスのとれた教育活動に取り組む。
- 未知の状況にも対応できる資質・能力の育成をめざし、自ら課題を発見し解決する力を身に付けるため、知識・技能の習得とそれを活用して課題を解決する思考力・判断力・表現力や、言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力等の学習の基盤となる資質・能力を育むことができるよう、主体的・対話的で深い学びの実現に向けて不断の授業改善を進めるなど、教育活動の充実に取り組む。

学校教育目標

- 日々の主体的な学習を通じて的確な判断力と豊かな創造力を養い、広い視野と実践力を持った、時代の変化に適応し未来を担い支えるリーダーを育成する。
- 文武両道を「より高いレベル」で実践し、知・徳・体のバランスのとれた教育に取り組む、主体的で責任感旺盛な態度を育てる。
- 安心で快適な教育環境の整備・充実に努めるとともに、地域等との連携・協働を推進し、生徒・保護者・地域からの信頼と期待に応える学校づくりを推進する。

グラデュエーション・ポリシー

- 自己の将来・人生について深く考える人材の育成を目指し、
 確かな学力・的確な判断力・自己管理能力を育みます。
- 地域をけん引し、未来を担い支えるリーダーの育成を目指し、
 主体的で責任感にあふれる行動力と他者に伝える対話力を育みます。

カリキュラム・ポリシー

- 1学年は外国語（英語）・数学・国語において標準を上回る単位数で基礎的な学力の充実に努めます。2学年は文系理系分けせず、共通の教科・科目を中心に幅広い知識を学びます。3学年は文系コースでは地理歴史・公民から2科目、理系コースでは理科から2科目を履修することで、国公立・難関私立大学等への挑戦を後押しします。
- STEAM教育の観点から教科横断型学習・探究型学習を行い、ICTを効果的に活用することで、主体的・対話的で深い学びを実現する「学ぶ喜び」のある授業を提供します。それにより、知識・技能の習得と、自ら課題を発見・解決するプロセスの学習、さらに、新たなものごとを発見・創造する力の育成に取り組めます。
- 「本気の文武両道」とおとして、確かな学力に加え、充実した学校行事・部活動等によってしか得ることのできない人間の成長を促します。
- 進路の実現に向けて3年間計画的に進路指導を行い、さらに、OB 社会人講話や姉妹校カジョリーナ・シニア・カレッジとの交流等の高校卒業後を見据えたキャリア教育を実施して、自己と社会との関わり方やグローバル社会における地域の発展に貢献する視点を養います。

アドミッション・ポリシー

- 本校の校風や伝統、教育目標を理解し、秦野高校で実現したい具体的な目標を持つ生徒
- 「本気の文武両道」を実践するために、学業や学校行事・部活動等すべてに対して主体的に行動し、リーダーシップを発揮しようという意志の強い生徒
- 中学校における学習を基盤とし、どのような力をつけて社会に出たいかという長期的な視点を持ち、自らの目標の実現に向けて探究し続けるようとする生徒

	教育課程・学習指導	生徒指導・支援	進路指導・支援	地域との協働	学校管理・学校運営
目標	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒が自ら課題を発見し、主体的に学ぶ意欲を高める授業を通して、個々の学力を向上させ、STEAM教育の実践を通じて探究的で創造的な学びを推進 ○特別活動において、創造力や実践力、主体的で責任感旺盛な態度を育成 	<ul style="list-style-type: none"> ○安心・安全、且つ、規律ある学校生活を送るための、生徒の自主自律の精神を育む指導法を確立 ○文武両道を「より高いレベル」で実践し、主体的で責任感旺盛な態度を育成 ○SC・SSW等と情報共有を図るとともに、担任・学年と連携し、支援を必要としている生徒に適切に対応 	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒が学習に意欲的に取り組めるきっかけとなるキャリア教育を推進 ○時代の変化を見据えた上で、社会が求める人材を的確に把握し、自分の目指すべき将来と進路先を見つけられるよう支援 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の一員としての意識を育む教育の推進と、地域の活性化に貢献できる人材の育成 ○学校に関わる全ての人に魅力を伝えられるよう広報活動を充実 	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒・教職員ともに安全・安心で快適な教育環境の整備・充実を進め、教育活動の一層の充実と活性化を図る ○不祥事防止の取組を組織的に進めるとともに、風通しの良い職場環境をつくり、生徒・保護者・地域の期待に応える学校づくりを推進
主な方策	<ul style="list-style-type: none"> ○授業研究会や授業参観を通して組織的、継続的な授業改善に取り組み、生徒による授業評価アンケートの結果を学校全体で共有し、学ぶ喜びのある授業実践を図る ○STEAM教育の実践を通じた、生徒が教科横断的に主体的に学ぶ意欲の向上 ○適切な教育課程の編成と、生徒のニーズに応えるカリキュラムのあり方の研究 ○委員会活動や学校行事を生徒主体で実践できる環境をつくり、活動に責任をもって取り組むよう指導 	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒の規範意識向上のため、教職員の共通理解のもと、交通安全指導やみだしなみ指導、声掛けを実施 ○部活動の活性化への取組を継続しつつ、生徒の主体性等を伸ばせるよう支援 ○生徒情報共有シートを活用して、支援を必要としている生徒を早期発見し、担任・学年との連絡を密に行い、素早い相談を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○高大連携、社会人講話等により生徒の社会に対する興味・関心を高め、生徒の進路選択に向けて動機づくりを行う ○STEAM教育の一環として端末の活用スキルを向上させ、生徒一人ひとりの情報処理能力を高め、具体的な的確な進路先を発見させ、進路実現に向けて指導 ○カジョリーナ・シニア・カレッジ（姉妹校・オーストラリア）との交流を通して、生徒がグローバルな視点で物事を考える力を向上 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域貢献活動を推進し、地域人材の活用など地域と連携した教育活動を実施 ○生徒が主体となった広報活動の積極的な実施と、定期的な情報発信 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校全体で防災・危機管理に対する取組を日常的に進めるとともに、老朽化した施設・設備の更新や修繕を図りつつ、次世代を見据えた教育環境の整備・充実を図る ○不祥事ゼロプログラムに基づき、日常的・組織的に不祥事防止の取組を推進

校訓・沿革・伝統

- 1886（明治19）年創立の三郡共立学校が、その後、1926（大正15）年に奈珂中学校となり現在地で開校。1935（昭和10）年に神奈川県に移管し県立秦野中学校に改称。戦後の学制改革により1948（昭和23）年に県立秦野高等学校となった。
- 「文武両道・質実剛健」を校訓としている。

特色のある学校行事等

- 豪州カジョリーナ・シニア・カレッジ（CSC）と姉妹校提携を結んでおり、例年夏に本校生徒が訪問している。
- 校内マラソン大会は毎年2月に開催され、健脚を発揮した好記録者には同窓会賞として記念品が贈呈されている。